

The
International
Booker
Prize
2024

プレスリリース
2024年5月21日（火）午後10時（英国夏時間）

ジェニー・エルペンベック著、マイケル・ホフマン翻訳の
『Kairos』が2024年国際ブッカー賞を受賞

- 「これは大きな愛とその崩壊を描いた私的な物語ですが、政治システム全体の崩壊の物語でもあるのです。シンプルに表現すると『初めは正しいと思われたものが、どのように間違っただけのものへと変わっていくのか』ということ。この変化に私は興味を持ったのです」『Kairos』著者ジェニー・エルペンベック
- 昨年のブッカー賞を受賞した『Time Shelter』に続き、『Kairos』は鉄のカーテン崩壊後の東欧が舞台になっています。
- 2018年のブッカー賞ロングリストに選出されたジェニー・エルペンベックは、ドイツ人著者として初のブッカー賞を受賞しました。マイケル・ホフマンは男性翻訳者として初のブッカー賞受賞となりました。
- Granta Books は、ブッカー賞が現在のかたちとなった2016年以来2度目の受賞です。
- [2024年国際ブッカー賞受賞者について知るべきすべてのこと](#)

#InternationalBooker2024 | @TheBookerPrizes
www.thebookerprizes.com

受賞した著者、翻訳者、書籍の画像は [こちら](#) からダウンロード可能です。
このフォルダにはレッドカーペットおよび授賞式の放送映像と画像が追加される予定です。

5月21日（火）、『Kairos』が国際ブッカー賞を受賞。メゾン ヴァレンティノがスポンサーを務める授賞式にて、2024年国際ブッカー賞審査委員長、エレノア・ワクテルによって結果が発表されました。授賞式は学者でありアナウンサーのシャヒダ・バリの司会のもと、ロンドンのテート・モダンにて行われました。賞金の5万ポンドは両者の貢献を同等に称え、著者であるジェニー・エルペンベックと翻訳者であるマイケル・ホフマンで二分されます。

文化部門から著名なゲストたちが出席した授賞式のハイライトは、ブッカー賞のYouTubeチャンネルを通じて、インターネットの常駐図書館員として知られるユーチューバー、ジャック・エドワーズによる司会のもとライブ配信が行われました。ライブ配信の様子は [こちら](#) でご覧いただけます。

オリジナルはドイツ語で書かれたエルペンベックの小説は、1980年代のベルリンを舞台に若い女性と年配の男性の間の破壊的な不倫関係を描いています。前に進まなくてはならないと頭では理解しつつも過去にしがみついたまま離れることができません——。愛し合う二人が東ドイツの崩壊した理想主義を体現するように、私的な物語と政治的な物語が結び付けられています。希望と失望にまつわる熟考。『Kairos』は自由、忠誠、愛、権力にまつわる複雑な疑問を投げかけます。受賞作品は、2023年5月1日から2024年4月30日までの間にイギリスまたはアイルランドで出版され

出版社より提案された149冊の選考対象の中からショートリストに選出された [Not a River](#)、[The Details](#)、[Mater 2-10](#)、[What I'd Rather Not Think About](#)、[Crooked Plow](#)の6作品の中から選ばれました。ワクテルに加え、2024年の審査員には受賞歴のある詩人[ナタリー・ディアス](#)、過去にブッカー賞ショートリストに選出されたことのある小説家 [ロメシュ・グネセケラ](#)、革新的なヴィジュアルアーティスト [ウィリアム・ケントリッジ](#)、著名な作家であり編集者、翻訳者の [アーロン・ロバートソン](#)が名を連ねています。

授賞式では、著名なパフォーマーの朗読による、ショートリストに選出された全6作品の抜粋を紹介した短編映画が披露されました。これらの映画はシャロン・ホーガンの会社であるMerman がプロデュースし、シャーロット・ハンブリンが監督を務めたもので、受賞作品の抜粋部分はエレノア・トムリンソンがパフォーマンスを担当しました。これら6本の映画は [こちら](#) でご覧いただけます。ブッカー賞のソーシャルメディアプラットフォームで公開されて以後、これらの映画は3200万回以上視聴されました。

受賞した著者と翻訳者の [thebookerprizes.com](#) におけるインタビュー:

「壁の崩壊は解放を意味します。私が興味を抱いたのは、そのような物語の中で語られるのは解放だけではないということ。そこには、解放に至るまでの日々と、その後に続く日々があります。そしてそれはハッピーエンドのその先でもあるのです」
ジェニー・エルペンベック

「壁が崩壊する前後の10年を舞台に、見事に状況が描かれた物語です。本書は私にとってコインのよう。パーソナルな物語である表と、国家の象徴が描かれた裏があります。それは空中でぐるぐると回り続け、時に表、またある時には裏となるのです」
マイケル・ホフマン

受賞した著者と翻訳者の詳細

ジェニー・エルペンベックは 1967年、ドイツ、ベルリンに生まれました。オペラの監督として働く傍ら、2008年に小説『The Old Child & The Book of Words』でデビューしました。その後『Visitation』(2010年)、『The End of Days』(2014年、国際ブッカー賞の前身、インディペンデント外国小説賞受賞)、『Go, Went, Gone』(2017年、2018年国際ブッカー賞の論議リストに選出)、『Not a Novel: Collected Writings and Reflections』(2020年)といった作品を発表。彼女の作品は30以上の言語に翻訳されています。

マイケル・ホフマンは詩人であり、批評家、翻訳家です。フランツ・カフカやヨーゼフ・ロート、ハンス・ファラダを含むドイツ人作家による複数の作品を翻訳しています。彼の父親が書いた小説『The Film Explainer』の翻訳により1995年に受賞したインディペンデント外国小説賞など、これまでにさまざまな文学賞を受賞しています。1993年以来、ゲインズビルのカリフォルニア大学で非常勤講師を務めています。ジェニー・エルペンベックが国際ブッカー賞のロングリストに選出された(『Go, Went, Gone』にて、翻訳者はスーザン・ベルノフスキー) 2018年には、国際ブッカー賞の審査員を務め、2023年、王立文学協会フェローに選出されました。

『Kairos』に関する批評

国際ブッカー賞の影響

『Kairos』は世界的な認知と、世界的な売り上げの増大が見込まれます。ゲオルギ・ゴスポディノフ著、アンジェラ・ロデル翻訳の『Time Shelter』が2023年国際ブッカー賞を受賞した翌週、出版社Weidenfeld & Nicolsonの売り上げは前週に比べて435%増加しました。現在、全エディションの合計で10万部以上を売り上げています。2023年のロングリストが発表される前、『Time Shelter』はブルガリアに加え23の国と地域での版權が取得されていましたが、発表後はさらに14の国と地域が加わりました。

翻訳小説の需要

ブッカー賞財団に関するニールセンの情報によると、イギリス国内において、翻訳小説の読者は小説の読者全体の平均より著しく若いことを示しています。現在、イギリス国内における翻訳小説購入者の半数近くを35歳以下が占めています。2022年、翻訳小説を購入した人の割合で4分の1近く（24.9%）を占めたもっとも大きなグループは25歳から34歳のグループで、13歳から24歳のグループが17.3%と続き、翻訳小説を購入した35歳以下の読者の割合は全体で48.2%でした。比較して、小説全体の読者としては60歳から84歳のグループがもっとも大きな割合を占めました。

翻訳小説を読む、より若い読者の割合も増加しています。翻訳小説を購入した25歳から34歳の読者の割合は2021年の21%から2022年の24.9%へ増加しています。さらに、イギリス国内で小説全般を購入した男性読者の割合は32%でしたが、翻訳小説では48%でした。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

詳細：

賞に関する情報や、ブッカーライブラリーに登録された数多くの書籍や著者に関するより掘り下げた記事は thebookerprizes.com をご覧ください。

[Instagram](#) (@thebookerprizes)、[TikTok](#)、[Facebook](#)、[X](#) (#InternationalBooker2024) をフォローしてください。

世界中の1万9000人の読書愛好家たちが集うフェイスブックのBooker Prize Book Clubに参加し、ブッカー賞 [Substack](#) に登録し、Appleおよび [Spotify](#)を含むすべてのポッドキャストプラットフォームに対応する[The Booker Prize Podcast](#)をお聴きください。

編集者への注記

- 受賞シーンの放送映像、受賞者の画像、レッドカーペットおよび授賞式の写真、ソーシャルメディアのグラフィックは [こちら](#) でダウンロード可能です。thebookerprizes.comでは、『Kairos』、ジェニー・エルベンベック、マイケル・ホフマン
- に関する以下の記事をお読みいただけます：
 - [2023年国際ブッカー賞受賞者について知るべきすべてのこと](#)
 - [エレノア・トムリンソンが短い抜粋を演じた短編映画](#)
 - [著者と翻訳者へのQ&A動画](#)
 - [書面インタビュー](#)
 - [抜粋](#)
 - [読書ガイド](#)

2024年国際ブッカー賞ショートリスト：

タイトル	オリジナル言語	著者	著者の国籍	翻訳者	翻訳者の国籍	英国の出版社
Not a River	スペイン語	セルバ・アルマダ	アルゼンチン	アニー・マクダーモット	イギリス	Charco Press
Kairos	ドイツ語	ジェニー・エルベンベック	ドイツ	マイケル・ホフマン	ドイツ	Granta Books
The Details	スウェーデン語	la Genberg	スウェーデン	キラ・ジョセフソン	スウェーデン	Wildfire Books
Mater 2-10	韓国語	ファン・ソギョン	韓国	ソラ・キム・ラッセル ヨンジェ・ジョセフィン・ベ	韓国/ アメリカ 韓国	Scribe UK
What I'd Rather Not Think About	オランダ語	Jente Posthuma	オランダ	サラ・ティンマー・ハーヴェイ	オーストラリア	Scribe UK
Crooked Plow	ポルトガル語	イタマール・ヴィエイラ・ジュニオール	ブラジル	ジョニー・ロレンツ	アメリカ	Verso Fiction

表のリンクをクリックすると概要とプロフィールをご覧いただけます。ショートリストに載った作品の著者および翻訳者のインタビューは[こちら](#)をご覧ください。